



JICA (ER) 第3-10001号
平成22年3月10日

環境社会配慮審査会
委員長 村山 武彦 殿

独立行政法人 国際協力機構
理事 粗 信仁



環境社会配慮審査会への諮問について

JICA 環境社会配慮ガイドライン 2.4 の規定に基づき下記事項につき諮問いたします。

記

1. 件名

諮問第10号

「タンザニア国ザンジバル地域配電網強化計画」

2. 諮問事項

「タンザニア国ザンジバル地域配電網強化計画」におけるスコーピング案

以上

平成 22 年 5 月 18 日

独立行政法人 国際協力機構
理事 粗 信仁 殿

環境社会配慮審査会
委員長 村山 武彦

諮問第 10 号に対する答申について

JICA 環境社会配慮ガイドライン 2.4 の規定に基づき、諮問第 10 号「タンザニア国ザンジバル地域配電網強化計画」における環境社会配慮調査のスコーピング案について、別紙のとおり答申いたします。

答申内容を協力事業に反映するよう、お取り計らいください。

以上

タンザニア国ザンジバル地域配電網強化計画
スコーピング案 答申

代替案の検討について

1. 住民移転数が減少されるよう代替ルート、配電線種の検討につき、先方政府の理解を得るよう努めるべきである。
2. 非自発的住民移転が発生する区間 6 に関して、道路沿いの敷設方式など移転数を最小化するような建設ルートの工夫をさらに検討することが望ましい。

配電線 ROW の規制・管理について

3. 配電線用地敷き幅規制 (ROW) について、配電線種に応じた柔軟な対応を検討する一方、少なくとも日本を含む主要な先進国における規制基準を下回らないよう配慮すべきである。
4. 配電線用地敷き幅に関して、先方政府担当部署と協議の上必要な管理計画を作成し、適切な用地管理を行うよう働きかける必要がある。

スコーピング結果の環境影響項目について

5. 既存の配電設備（電線や鉄塔など）の撤去、処分に伴い発生する廃棄物について影響を評価し、スコーピング結果として明示すべきである。
6. 電磁波による影響を評価し、スコーピング結果として明示すべきである。

鳥類への影響について

7. 配電線施設予定地南東部のキワニ (Kiwani) 湾は鳥類の重要生息地とされていることから、送電線と鳥類の衝突事故増加のおそれがないか調査検討が必要である。また、飛来ルートを横切る場合は、対策を検討すべきである。

住民協議、住民移転及び移転に伴う補償方針について

8. 住民移転政策の補償方針の実現性につき不安が残るため、今後の概略設計調査の段階で先方と同国政府の一般的な公共事業等に伴う補償方針等の整合性も充分考慮しながら本事業の具体的な補償方針につき合意形成を図ることが望ましい。
9. 配電施設敷設対象地区、住民移転対象地区の生計、主要産業についてより詳細な調査をすべきである。
10. 生活様式の変化にともなうメリット・デメリット、コスト負担の確認を含めて住民説明会を実施すべきである。

以上